

議 長	事務局長	次 長	係 長	係
		幡		

様式第1号（第7条第1項関係）

政務活動費に係る収入及び支出の報告書

令和7年4月10日

常陸太田市議会議員 高星 勝幸 殿

会 派 名 龍政クラブ

経理責任者名 高 木 将

令和6年度政務活動費に係る収入及び支出の報告について

常陸太田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、下記のとおり令和6年度政務活動費に係る収入及び支出の報告書を支出証拠書類を添え提出します。

記

1 収 入 政務活動費 650,240 円
(内預金利子 240 円)

当初交付決定額 720,000円
変更交付決定額 650,000円

2 支 出

(単位：円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	30,000 円	
広 報 費	216,666 円	
広 聴 費	円	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	円	
会 議 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
人 件 費	円	
事 務 所 費	円	

3 残 額 403,574 円

4 添付書類

(注) 1 備考欄に、主たる支出の内訳を記載すること。

2 支出証拠書類は、適当な用紙に原本を貼付し、科目ごとにまとめて提出すること。



政 務 活 動 費 収 支 差 引 簿
令和 6 年度

常陸太田市議会

会 派 名 龍政クラブ

経理責任者名 高 木 将

[illegible]

(調査研究費)

[illegible]

(研修費)

[illegible]

領 収 書

令和6年7月25日

常陸太田市議会 御中
〒313-8611
茨城県常陸太田市金井町3690

ラッセルズ株式会社
代表取締役 平野 健一郎
登録番号T5012401024720
〒192-0046東京都八王子市明神町4-29-9
八王子セントラルマンション 301

下記の金額、正に領収いたしました。

合計金額(税込)	80,000円
----------	---------

(※ 80,000円 ÷ 16人 = 5,000円/人)

内 容	金 額
令和6年度 常陸太田市議会議員研修「ハラスメント防止研修」 (令和6年7月25日実施)	
【内訳】	
講師派遣料金72,728円/回 × 1回	72,728円
消費税 72,728円 × 10%	7,272円
合 計	80,000円

【備考：研修参加者（敬称略）】

- ・ 太政クラブ（高星勝幸、藤田謙二） $5,000円/人 \times 2人 = 10,000円$
- ・ 未来創政クラブ（茅根猛、成井小太郎、菊池勝美、小室信隆、鴨志田悟） $5,000円/人 \times 5人 = 25,000円$
- ・ 龍政クラブ（益子慎哉、高木将、深谷秀峰、森山一政、根本仁、石川剛） $5,000円/人 \times 6人 = 30,000円$
- ・ 平山晶邦 $5,000円/人$
- ・ 深谷渉 $5,000円/人$
- ・ 宇野隆子 以上16名分
 $5,000円/人$

領 収 証

No. _____

龍政クラブ 様

6 年 7 月 18 日

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					6	3	0	0

但し 会報印刷代

いつも格別のお引立てを頂き厚く御礼申し上げます。上記金額正に領収致しました

現金		
当座振込		
小切手		
手形		
相殺		
計		

登録番号:
T7810709970403



新 光 印 刷

代表 茅根 龍司

茨城県常陸太田市中城町139-1

TEL 0294-72-0767

扱 者 印

領 収 証

龍政クラブ 様

No. _____

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
					5	0	0	9

収 入

印 紙

内 訳

現金

小切手

手 形

会報印刷代 45,540

消費税等(10%) 4,554

但し 会報印刷代 1/10入 13,800枚 (14)

2024 年 7 月 18 日 上記正に領収いたしました

〒313-0055 常陸太田市西二町2171の1

(有) 立 川 新 聞 店

所 長 金 田 英 夫

電 話 0294 (72) 0 2 3 5

FAX 0294 (73) 1 2 1 4

登録番号 T7050002035116

係印

龍政クラブ

(連絡先)

〒313-0016
常陸太田市
金井町3690、4階

ryusei.hitachiota@gmail.com

FAX (0294) 33-6634

ご挨拶

龍政クラブを代表し、
ご挨拶を申し上げます。

市民の皆様が行政に対し、「何故?」と疑問に思うことを、率直に市長などに届け、慣例・前例を踏襲することに捉われず、積極的な課題の解決策や政策に反映するための議員集団「龍政クラブ」を6名の議員で立ち上げ、4月1日に活動開始いたしました。市民の皆様のお考えは様々であり、『市民の皆様との視点で考える』を基本として、常陸太田市の将来に責任を持って発言行動し、市民の皆様と共にかがやく持続可能なまちを創りたいと思います。皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

龍政クラブ

代表

益子慎哉

令和6年度の予算案、中身お分かりですか?

《膨らんだ予算と起債(借入)額》

令和6年度の一般会計予算案総額は、過去最大の315億700万円で、令和5年度比60億円余り(23・8%増)の大幅な増額となりました。

一般会計予算には、新総合体育館建設費総額63億2039万円のうち、今年度の22億4598万円、市道0139号線整備事業費26億4828万円、市制施行70周年・合併20周年に係る様々な記念事業などを盛り込んでおり、起債についても、令和5年度の16億4590万円から、令和6年度は55億2299万円と大きく膨らんでいます。これは将来、常陸太田市の負担になっていきます。人口減少が進む常陸太田



1万発の花火!! 夢はありますが...

市制施行70周年・合併20周年のアニバーサリー事業(冬)として、一般会計から3156万円が計上されました。この事業は、1万発の花火を打ち上げるための予算です。

市民の貴重な税金を費やしますので、無駄な経費を省き税金を節約しながらも、一人でも多くの市民の皆様や子どもが楽しめる事業にすることが重要だと思います。

また課題は多いと思いますので、計画の再考と練り上げ

自動運転EVバス、本当に生活に必要?

市役所から東部東地区シヨッピングモール間の約1・6kmを運行している自動運転EVバス1台(5年度に約1億円で購入)に対しての6年度分運営経費として調査業務委託料と自動運転運行委託料を合わせ、一般会計から9908万円が計上されました。

実質9人乗りのEVバス1台に、毎年約1億円をか

で、費用対効果の面からも成功に結びつく事業となることを期待します。

※6月の第一回実行委員会で、市の当初予算3156万円を含む、総額7036万円の予算案が示されました。

収入面では、協賛(寄付)金1850万円、4万円の有料観覧席500卓の販売収益金2000万円など議会に説明が無かった金額が、支出面では、ドローン300機による演出計画に924万円、当初計画の1万発から7020発に減らされた打上花火計画など議会への説明とは異なる内容が、それぞれ明らかになりました。

けるならば、その予算をタクシーやジャンボタクシーの台数を増やしたり、運賃を安くするための補助金に充てたりすることにより、少ない予算で今よりも生活しやすい環境を整えることができるのではないのでしょうか。



(裏面に続きます)



常陸太田市
市制施行70周年
合併20周年
時をかさね ともにつながる
まちづくり 輝く未来へ

昭和29年7月15日／常陸太田市誕生
平成16年12月1日／合併で新生常陸太田市誕生

1万円が1万7千円!?!
《70%ものプレミアム率!》
プレミアム付商品券に、
一般会計から2億957万

補正前提の

当初予算カット??

昨年度まではゴミ出しが
困難な高齢者の一助となる
ように568万5000円
が「高齢者等ごみ出し支援
報償費」として計上されて
いましたが、令和6年度予
算案では全額カットされて
いました。

円(その内、1億1282
万円は※(1)物価高騰対応重
点支援地方創生臨時交付金
を充当)が計上されました
が、プレミアム率を下げる
ことで、生活困窮者への支
援や経済活性化のための予
算を増やすことができるの
ではないでしょうか。

※(1)物価高騰対応重点支援
地方創生臨時交付金は、プ
レミアム商品券に使い方を
限定されているものではな
く、市の実情に応じて申請
することができると国からの
交付金です。

このような場合、カットの
理由を含め予算特別委員会
で議論しますが、執行部から
らは6月議会でも補正をする
との答弁がありました。

まだ当初予算が成立して
いない段階ですので、6月議
会で補正するのではなく、本
来であれば、当初予算を修正
して議会に提出するべきと
考えます。

― 予算案 ―

否決されたら、どうなるの?

当初予算が否決されたら
市民生活に大きな支障が出
ると誤解されている方がお
られます。

また、反対した内容にで
はなく反対すること自体を
批判している方もおられま
した。

仮に、当初予算が否決の
場合、市長が年度内に臨時
会を召集し、改めて修正予
算案を審議するか、義務的
経費や継続事業費に限定し
た暫定予算を編成して対処
しますので、市民生活に大
きな支障を及ぼすようなこ
とはありません。

今回の当初予算について
は、考え方や立場の違いか
ら賛成した議員も反対した
議員もいますが、市民のた
めに考えた上での言動であ
り、市民が困るようなこと
しようと考えている議員が
いるはずはありません。

そもそも市議会は、市長
の業務執行を監視する役割

を担っていますので、市長
から提案された予算案につ
いても十分に審議したうえ
で、可決するか否決するか
を決定することが、最も基
本的な権限であります。
そして、議員各々が賛否
の態度を表すことは議員の
責務でもあります。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
【龍政クラブ】メンバー



表面の連絡先に、皆様のご意
見をお寄せいただきたく、お願
い申し上げます。
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

◇ 編集後記 ◇

私たちの常陸太田市は、超
少子化対策や超高齢社会対策
としての社会保障費が年々増
大しております。

地域によつては高齢化率が
70%を超え、平均でも42%以
上であり、将来の常陸太田市
を支える層の先細りが進み、
安定した市税収入の確保が困
難になってきているのです。

また茨城県内で面積が一番
広いので、基盤整備の拡充に
も、効率的な事業計画と財政
支出を忘れてはなりません。

先人が築き上げてきた常陸
太田市を次の世代に良好な状
態で引継ぐのは、今を生きる
私たちの使命です。

その為にも、地域の産業・
農業・観光など稼ぐ力の底上
げが大事です。

市政施行70周年・合併20周
年記念事業で市民意識を高め
ることは重要です。

しかし、過度な事業計画と
ならないように、議員として
議会として、より慎重かつ厳
正に対応していかなければな
らないと、改めてその思いを
強くした今回の予算特別委員
会でした。

領 収 証

No. _____

龍政クラブ 様

7年2月8日

金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円
				9	9	0	0	0

但し 千円印刷代(2000枚)

いつも格別のお引立てを頂き厚く御礼申し上げます。上記金額正に領収致しました

現金		
当座振込		
小切手		
手形		
相殺		
計		

登録番号:
T7810709970403



新 光 印 刷

代表 茅根 龍司

茨城県常陸太田市中城町139-1
TEL 0294-72-0767

扱 者 印

領 収 証

龍政クラブ 様

No. _____

★

¥ 48800-

但し 千円印刷代 13450枚 3/5入れ

2025年2月12日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
税率	金額(税抜・税込)	
%	消費税額等	

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

〒313-0055 常陸太田市西二町2171の1

(有)立川新聞店

所 長 金 田 英 夫

電 話 0294 (72) 0 2 3 5

FAX 0294 (73) 1 2 1 4

T 7050002035116

龍政クラブ

〒313-0016
常陸太田市
金井町 3690
常陸太田市役所 4 階

ryusei.hitachiota@gmail.com

FAX (0294)33-6634

益子慎哉 (代表)
根本 仁 (幹事長)
高木 将 (会 計)
深谷秀峰
森山一政

市総合体育館建築工事

令和六年十二月、市議会定例会において新総合体育館整備事業として、七〇億円を超える補正予算が提案されました。

設備が必須となりました。しかし、計画を進めていく中で、プロ競技の公式戦開催が不可能もしくは継続的に開催することが困難な状況であることが判明してきました。

令和三年二月の概算事業費(本体・外構・解体工事設計委託費等、備品購入費)約四六億円だったものが、令和四年十月には約六一億円に、令和六年三月には六八億円(本体・外構・解体工事)になりました。しかし、令和六年八月の入札では、建築価格高騰と思われる理由により入札に応じる業者が一社もありませんでした。

その結果を踏まえ、本体内容を変更した上で令和六年十二月には約八五億円(本体・外構・解体工事、備品購入費)、全体事業費は九〇億円を超える継続費補正が提案されました。

新総合体育館建築計画は、令和三年二月に示されたもので、整備方針の柱の一つが、トップレベルの大会等に対応できる体育館でした。

プロ競技の公式戦を開催できることが新体育館整備の最低基準になり、サブアリーナの建築や二五〇〇席もの観覧席、設備など、市民向けの体育館では重視されない施設・



(総合体育館完成予想図)

プロ競技の公式戦開催を前提としなければ、観客席数の縮小やサブアリーナ建設の中止をすることができ、建築費圧縮を図ることができそうです。

さらに、現計画で約五五〇台予定する駐車台数を減らすことにより、従来の陸上競技用トラックを復活させ、陸上競技だけでなく、少年スポーツ競技やグラウンドゴルフ、ゲートボールなどの高齢者が加する競技大会が開催しやすくなり、現在の計画に比べてより多くの市民が使いやすい総合運動公園になるものと考えます。

また、現時点でも年間の維持管理費が計算できていないとのこと(当初の見込み額は一・五億〜二億円)ですが、建設費と同様に大幅な増額が懸念されます。

自主財源が乏しく少子化が急激に進んでいる本市の状況下において、パルティールや生涯学習センター、金砂郷・水府・里美地区に存在する他のスポーツ施設や温浴施設等の維持管理費なども考慮すると、これから建築する施設は本市の実情にあつたものにしなければならぬと危機感をもっております。

市道〇一三九号線 整備事業

市民の命を守り、

交流人口の拡大を図る

平成三十年にスタートした本事業は、常陸太田市幡町から日立市金沢町を結ぶ延長五・六kmの、日立市と常陸太田市が連携して整備する事業です。

そのうちトンネルを含む五・一kmの区間を本市の市道〇一三九号線とし、合併特例債を活用して現在工事が進んでいます。

この道路整備により通勤通学時間の大幅な短縮が図られることになりませんが、何より自治体が最も重視すべき市民の生命を守るために、日立市内への救急搬送が容易になる事など、市民生活での利便性や安全性の向上につながるものと言えるでしょう。

しかし事業費倍増で、

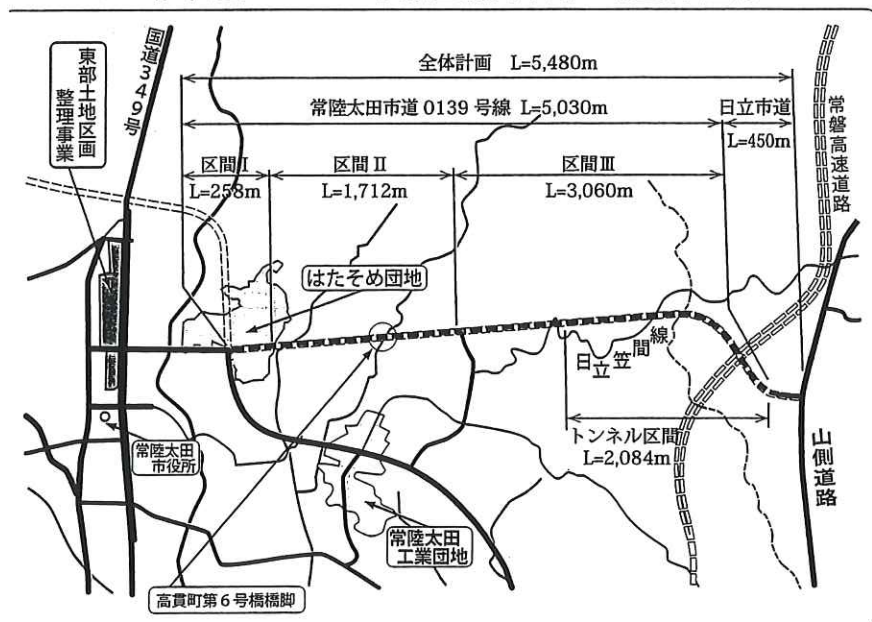
合併特例債が足りない

この事業の当初全体事業費は一二五億円でしたが、令和六年十一月の全員協議会で示された変更後の事業費はなんと二六四億円に膨れ上がっていました。

これまでの工事等で二八億円を支出しているもので、令和六年度以降の工事費は二二六億円になります。

その財源の内訳は、国庫支出金等が一・一億円、合併特例債が一・〇九億円、一般財源が六億円に分けられ

【市道 0139 号線整備事業区域全体図】



(裏面もお読みください)

るのですが、合併特例債の残りは約一二四億円。新総合体育館などの事業にも活用するので、この道路整備に使えるのは六三億円に落ちてしまいい、どうやって四六億円足りません。

執行部の説明では、国庫支出金等の新たな財源確保に向け国や県との調整を進めていくとのことでした。

はたそめ団地を通過する上での問題点

この道路整備計画は日立市への最短ルートという事で「四季の丘はたそめ」団地内(区間Ⅰ)(区間Ⅱ)を通過する計画ですが住民の方々より交通量の増加や大型車両の通行に対する安全性の確保、騒音や振動、排気ガス問題等開通後の生活環境への影響を心配する声が上がっています。

本市にとって大変重要な道路整備事業ではありますが、課題解決のためには事業推進の旗頭である市長を中心とした執行部の真摯で誠意ある対応が求められていると考えます。

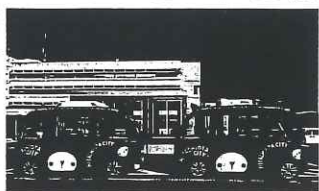
自動運転EVバス運行事業

一台目について

令和六年二月十六日から始まった、市役所・東部区画整理地内・市役所間での一・六kmという短距離で実施された運行実証実験は、十一ヶ月(三三〇日)間の乗車人数が約四三〇〇人で一日平均乗車人数は約十二・五人、総走行距離が約四八〇〇kmとなりました。

二台目について

令和六年度には、自動運転EVバス事業の拡大を図ることを目的として、二台目のEVバスを購入。



※車両のラッピングは2台とも同じ

車両購入費は全額国負担で、市は事業推進費として約八七〇〇万円を予算化、東部区画整理地内の西側市道五〇〇区間で、ほぼ自動運転となるレベル4の実証実験を行います。

今後の実走行路線の拡大構想について

一台目の実証実験から得られたデータを基に課題点を整理し、今後は市役所・JR常陸太田駅・鯨ヶ丘地区・舞鶴橋・新・旧ショッピングゾーン・市役所(七

・七km)を計画区域とし、警察や国・県など関係機関との調整の上、拡大していくとのこと。

実績と構想を記載しましたが、経路地域内の住民理解と協力体制の確立のための説明なども重要と考えます。

将来的な拡大の方向性や可能性の検証、及びレベル4対策としての道路整備や停留所設置整備などの事業予算に、市民の税金を使って実証すべき事業かなどの検証もしつかりと対応しなければならぬと考えます。

当クラブ会報創刊号にも記載しましたが、EV

北回りルート(約7.7km)



南回りルート(約7.0km)



バス運行事業に毎年高額を予算をかける、その分をタクシーやジャンボタクシーの台数を増やした運賃を安くするため補助金に充てたりすること、より少ない予算で今よりも生活しやすい環境を整えることができるかと考えます。

財政力が低く、既に財源不足となっている事業も抱える当市の状況を鑑みると、今まで以上に事業内容や歳出面をしっかりと検討し、効率的で無駄のない財政運営をしなければならぬと考えます。

七〇二〇記念花火大会

花火大会、ありがとうございました。

アニバーサリー事業として実施した花火大会、すばらしいものでした。花火大会実行委員会を始め、市の職員、ボランティア、協賛をいただいた方など、多くの皆様が力を合わせた成果が現れたものと感じます。大会当日はもちろんのこと、数か月前から計画や準備、花火大会後の後始末など、花火大会を支えてくださった全てのの方に感謝申し上げます。

この事業計画は、令和六年三月市議会に提案されましたが、私たちは市の財政が厳しくなっていく状況を鑑み、一万発ではなく数を減らしても工夫次第で心に残るような大会にできるのではないかと考え、市議会や会報でお伝えしました。

実際には当初の計画から約三割削減し七〇二〇発となりました。そして、多くの方々の努力、様々な工夫の結果、心に残る花火大会になったことと思います。

今後、経費の視点だけではなく、時期、会場、運営面など、多面的な視点で検証し、本市のよりよい未来につなげてほしいと思います。

公共施設の総合管理計画

施設の整理統合

常陸太田市は、これからの人口動向の状況を踏まえて、持続可能なまちづくりのために必要なサービスが可能な公共施設等の総合管理計画を進めています。

計画期間四〇年間で、目標五〇〇億円の縮減

施設の財源の見込み額に見合う額となるように、建物系の保有総量の縮減を目指すものです。

現在、本市が保有する建物系施設は、将来の改修費用に年間二七億円が必要であると試算されています。

建物系施設等の可能な財源の見込み額は年間十五億円であるため、年間十二億円の不足が見込まれます。

四〇年間で五百億円のマイナスになるため令和六年三月に総務省財務規定に基づき計画改定をしました。

当市は今後も人口減少傾向が続く、令和四〇年には一八、〇〇〇人になるとの予想です。

想です。必然的に市税も減収となることから、類似する公共施設存続についても十分な検討を重ね無駄をなくした健全な管理計画が大事です。

それぞれの施設利用者市民のご意見をいただきながら、持続可能なまちづくりを求めてまいります。

龍政クラブから執行部へ令和七年度予算への要望

- 一、安全安心なまちづくり
 - (一)防犯カメラの増設
 - (二)現状にあった町会支援
 - (三)自動運転EVバス計画の明示
- 二、健康で快適な市民生活の実現
 - (一)地域に根ざした高齢者相談施設設置
 - (二)高齢者の外出支援の拡充
 - (三)少子化人口減少対策
 - (一)ようづる縁結び隊の活動の充実
- 三、子ども公園の設置
- 四、活力ある産業づくり
 - (一)農業振興・耕作放棄地対策の充実
 - (二)観光施設の統合・戦略の見直し
- 五、その他
 - (一)公共施設の統合による諸費用の点検
 - (二)技術職・ITに詳しい職員の採用・育成

編集後記

本年は、五月に市長選挙と市議会議員補欠選挙が実施されます。

私たち龍政クラブは、市民の皆様や立候補を予定される方へ、市行政の現況をお知らせし、共に考え、更に一歩進んだ常陸太田市のまちづくりの為に行動して参る所存であります。

何卒、ご理解とご意見を賜りますよう、お願い申し上げます。

龍政クラブ

代表 益子慎哉